



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東 大

上場会社名 三洋化成工業株式会社

コード番号 4471 URL <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安藤 孝夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合事務本部長

(氏名) 大西 亨

TEL 075-541-6153

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	105,881	3.6	4,800	△38.5	6,050	△28.7	3,523	△26.0
23年3月期第3四半期	102,158	17.1	7,804	69.4	8,482	82.7	4,758	144.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,376百万円 (△51.8%) 23年3月期第3四半期 4,933百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	31.95	—
23年3月期第3四半期	43.14	39.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	147,123	88,531	58.1
23年3月期	140,817	88,392	60.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 85,461百万円 23年3月期 85,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	2.9	6,000	△37.6	7,200	△31.6	3,800	△27.1	34.45

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	117,673,760 株	23年3月期	117,673,760 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	7,374,375 株	23年3月期	7,368,901 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	110,302,043 株	23年3月期3Q	110,319,848 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は、この四半期決算短信の開示時点において実施中であり終了していません。(なお、四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外です。)

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13
四半期ごとの業績推移	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（4月～12月）におけるわが国経済は、東日本大震災に伴う経済活動の停滞は持ち直しつつあるものの、長期化する円高、タイ洪水による影響に加え、欧州の財政不安を背景に景気減速感が強まっています。

化学業界におきましては、原燃料価格は依然として前年を上回る水準で推移するとともに、歴史的な円高の継続や世界的な景気減速懸念など、経営環境は予断を許さない状況にあります。

このような環境下における当社の当第3四半期連結累計期間の売上高は、10月以降のタイ洪水の影響や景気減速による落ち込みはあったものの、原燃料価格上昇に対しての製品価格の改定もあり1,058億8千1百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

利益面では、原燃料価格が前年同期を上回る水準で推移したことに加え、円高や衣浦工場および鹿島工場での設備投資による償却費の増加もあり、営業利益は48億円（前年同期比38.5%減）、経常利益は60億5千万円（前年同期比28.7%減）、純利益は35億2千3百万円（前年同期比26.0%減）と大幅減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

＜生活・健康産業関連分野＞

生活産業関連分野は、洗剤用界面活性剤が液体洗剤の本格的な普及に加え新製品の上市が奏功したことや、ヘアケア製品用界面活性剤の拡販が順調に進んだこと、および一部製品において東日本大震災の影響による応援（受託）生産を行ったことなどから、売り上げを順調に伸ばしました。

健康産業関連分野は、紙おむつ用高吸水性樹脂の世界的な需要拡大を受け、昨年6月中国で増設した年間生産能力7万トンの高吸水性樹脂生産設備を稼働させたことなどによって売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は383億8千7百万円（前年同期比4.7%増）となりましたが、営業利益は原燃料価格が高水準であったことに加え、円高の影響もあり22億2千9百万円（前年同期比42.6%減）となりました。

＜石油・輸送機産業関連分野＞

石油・輸送機産業関連分野は、東日本大震災やタイ洪水による自動車生産台数減少の影響により、自動車内装表皮材用ウレタンビーズや自動車塗料用改質剤の需要が低迷しました。また、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料の売り上げも横ばいに留まりました。一方で、潤滑油添加剤が省燃費対応エンジンオイル用潤滑油の需要拡大やこれに適した新製品の上市で売り上げを大幅に伸ばしたことにより、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は238億8千5百万円（前年同期比3.6%増）となりましたが、営業利益は円高や設備投資による償却費の増加もあり3億5千6百万円（前年同期比42.3%減）となりました。

＜プラスチック・繊維産業関連分野＞

プラスチック産業関連分野は、塗料・コーティング用薬剤の拡販や一部製品において東日本大震災の影響による応援（受託）生産などがありましたが、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤の需要が当第3四半期（10月～12月）に入り減少したため、売上高が微増に留まりました。

繊維産業関連分野は、自動車タイヤコード糸などの製造時に用いられる合成繊維用薬剤およびガラス繊維用薬剤が海外を中心に、また炭素繊維用薬剤や合成皮革用ウレタン樹脂も国内外の需要の回復により、売上高が大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は142億2千万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は18億2千8百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

＜情報・電気電子産業関連分野＞

情報産業関連分野は、粉碎トナー用バインダー、重合トナー中間体用ポリエステルビーズとも需要は堅調に推移しましたが、生産拠点の鹿島工場（茨城県神栖市）が東日本大震災により被災したため当第1四半期前半に十分な生産ができなかった影響が残り、低調な売上高となりました。

電気電子関連産業分野は、FPD（フラットパネルディスプレイ）用樹脂の需要が大幅に減少したことに加え、アルミ電解コンデンサ用電解液やシリコンウエハ製造用薬剤の需要が当第3四半期（10月～12月）に入り急激に減少したため、低調な売上高となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は155億1千4百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は4億3千2百万円（前年同期比72.7%減）となりました。

<環境・住設産業関連分野他>

環境関連分野は、カチオン系高分子凝集剤が東日本大震災による鹿島工場の生産設備停止により当第1四半期前半に十分な出荷ができずに販売数量が減少した影響が残り、低調な売上高となりました。

住設関連分野は、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料が国内外で拡販が進んだことに加え、一部東日本大震災の影響による応援（受託）生産もあり、売り上げが大幅に伸びました。また、建築シーラント用原料やセメント用分散剤原料も拡販や震災による補修・改修需要の増加によりそれぞれ大きく売り上げを伸ばしたことによって、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は138億7千3百万円（前年同期比14.0%増）となりましたが、営業損益は原燃料価格が高水準であったことに加え、衣浦工場の償却費の増加などにより4千6百万円の損失（前年同期は1億4千5百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、株価下落による投資有価証券の減少はあったものの、売上債権ならびにたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて63億5百万円増加し1,471億2千3百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて1億3千8百万円増加し885億3千1百万円となりましたが、自己資本比率は前連結会計年度末から2.5ポイント低下し58.1%となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較し32億6千7百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末残高は87億7千6百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、47億5千万円（前年同期は71億円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益60億1千万円、減価償却費68億9千4百万円、仕入債務の増加64億5千2百万円などによる資金の増加が、売上債権の増加67億4千1百万円、たな卸資産の増加31億1千4百万円、法人税等の支払31億1千8百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、79億7千万円（前年同期は66億3千9百万円の減少）となりました。これは、固定資産の取得に77億4千1百万円を支出したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、1億9千8百万円（前年同期は21億3千9百万円の減少）となりました。これは長期借入金の返済（純額）12億6千9百万円、配当金の支払い16億4千8百万円などにより資金が減少する一方、短期借入金により36億9千9百万円資金が増加（純額）したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

10月以降、景気減速の影響に加えタイの洪水の影響等により売上高が落ち込み、利益面でも売上高の落ち込みが大きく影響し、平成23年10月25日公表の通期業績予想を下回る見込みであるため、平成24年1月26日付けの「平成24年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」にて次の通り当期業績予想を修正しております。なお、為替レートは前回と同じく76円/\$を想定しております。

(通期)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	148,000	8,000	9,600	5,900	53.49
今回修正予想 (B)	140,000	6,000	7,200	3,800	34.45
増減額 (B - A)	△8,000	△2,000	△2,400	△2,100	—
増減率 (%)	△5.4	△25.0	△25.0	△35.6	—
前期実績	136,026	9,615	10,527	5,209	47.22

※業績予想は発表時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,044	8,788
受取手形及び売掛金	36,145	42,730
商品及び製品	7,550	9,655
半製品	3,718	4,449
仕掛品	559	162
原材料及び貯蔵品	3,167	3,721
繰延税金資産	1,386	1,378
その他	788	958
貸倒引当金	△30	△33
流動資産合計	65,329	71,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,498	15,676
機械装置及び運搬具（純額）	21,453	24,718
土地	8,524	8,468
建設仮勘定	5,662	2,508
その他（純額）	1,387	1,240
有形固定資産合計	51,525	52,612
無形固定資産		
ソフトウェア	561	654
その他	387	381
無形固定資産合計	948	1,035
投資その他の資産		
投資有価証券	21,629	19,753
長期貸付金	3	3
繰延税金資産	249	778
その他	1,176	1,173
貸倒引当金	△44	△45
投資その他の資産合計	23,014	21,662
固定資産合計	75,488	75,310
資産合計	140,817	147,123

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,289	28,564
短期借入金	3,318	6,822
1年内返済予定の長期借入金	3,164	3,395
未払費用	2,765	3,098
未払法人税等	1,592	539
賞与引当金	1,606	609
役員賞与引当金	88	60
設備関係支払手形	1,473	2,916
その他	3,990	2,825
流動負債合計	40,288	48,831
固定負債		
長期借入金	6,612	5,098
繰延税金負債	332	13
退職給付引当金	3,540	3,085
役員退職慰労引当金	745	610
その他	905	952
固定負債合計	12,136	9,760
負債合計	52,425	58,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	12,194	12,194
利益剰余金	62,571	64,441
自己株式	△5,694	△5,697
株主資本合計	82,122	83,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,136	3,839
為替換算調整勘定	△1,986	△2,366
その他の包括利益累計額合計	3,149	1,472
少数株主持分	3,119	3,069
純資産合計	88,392	88,531
負債純資産合計	140,817	147,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	102,158	105,881
売上原価	80,649	87,250
売上総利益	21,508	18,631
販売費及び一般管理費	13,704	13,831
営業利益	7,804	4,800
営業外収益		
受取利息	36	45
受取配当金	296	376
持分法による投資利益	457	951
不動産賃貸料	266	254
その他	194	144
営業外収益合計	1,251	1,772
営業外費用		
支払利息	128	198
不動産賃貸原価	68	64
たな卸資産廃棄損	54	59
為替差損	281	166
その他	40	33
営業外費用合計	572	522
経常利益	8,482	6,050
特別利益		
投資有価証券売却益	1	0
固定資産売却益	178	1
貸倒引当金戻入額	18	—
受取保険金	—	58
補助金収入	—	155
特別利益合計	197	215
特別損失		
固定資産除却損	206	250
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10	—
投資有価証券評価損	2	2
貸倒引当金繰入額	0	1
その他	0	1
特別損失合計	221	255
税金等調整前四半期純利益	8,459	6,010
法人税等	2,873	1,893
少数株主損益調整前四半期純利益	5,585	4,116
少数株主利益	826	592
四半期純利益	4,758	3,523

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,585	4,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	△1,297
為替換算調整勘定	△614	△442
その他の包括利益合計	△652	△1,739
四半期包括利益	4,933	2,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,238	1,846
少数株主に係る四半期包括利益	694	530

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,459	6,010
減価償却費	5,831	6,894
固定資産除却損	206	250
のれん償却額	128	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△830	△996
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△613	△455
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△206	△134
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△27
受取利息及び受取配当金	△332	△422
支払利息	128	198
持分法による投資損益 (△は益)	△457	△951
固定資産売却損益 (△は益)	△178	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	2
その他の営業外損益 (△は益)	△69	△345
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,980	△6,741
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,131	△3,114
その他の資産の増減額 (△は増加)	△354	△106
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,107	6,452
未払消費税等の増減額 (△は減少)	111	△127
その他の負債の増減額 (△は減少)	553	427
小計	9,359	6,817
利息及び配当金の受取額	598	907
利息の支払額	△129	△201
その他	218	346
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,947	△3,118
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,100	4,750

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200	△12
定期預金の払戻による収入	15	—
固定資産の取得による支出	△6,318	△7,741
固定資産の売却による収入	160	35
投資有価証券の取得による支出	△8	△26
投資有価証券の売却による収入	3	0
貸付けによる支出	△2	△1
貸付金の回収による収入	1	1
その他	△292	△224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,639	△7,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	849	3,699
長期借入れによる収入	—	601
長期借入金の返済による支出	△891	△1,871
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△10	△3
配当金の支払額	△1,646	△1,648
少数株主への配当金の支払額	△441	△580
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,139	198
現金及び現金同等物に係る換算差額	△273	△246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,951	△3,267
現金及び現金同等物の期首残高	15,565	12,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,613	8,776

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康産業関連分野	石油・輸送機産業関連分野	プラスチック・繊維産業関連分野	情報・電気電子産業関連分野	環境・住設産業関連分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	36,676	23,048	13,622	16,644	12,166	102,158	—	102,158
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	21	—	121	142	△142	—
計	36,676	23,048	13,644	16,644	12,287	102,300	△142	102,158
セグメント利益	3,883	618	1,568	1,588	145	7,804	—	7,804

（注）セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康産業関連分野	石油・輸送機産業関連分野	プラスチック・繊維産業関連分野	情報・電気電子産業関連分野	環境・住設産業関連分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	38,387	23,885	14,220	15,514	13,873	105,881	—	105,881
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	24	—	136	160	△160	—
計	38,387	23,885	14,244	15,514	14,009	106,042	△160	105,881
セグメント利益又は損失(△)	2,229	356	1,828	432	△46	4,800	—	4,800

（注）セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

<参考>

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	88,901	2,949	8,702	1,605	102,158	—	102,158
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,416	16	468	—	2,902	△2,902	—
計	91,318	2,966	9,171	1,605	105,060	△2,902	102,158
営業利益(又は営業損失)	6,639	△113	1,163	33	7,723	80	7,804

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	91,953	2,787	9,365	1,774	105,881	—	105,881
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,240	52	696	2	3,992	△3,992	—
計	95,193	2,840	10,062	1,777	109,874	△3,992	105,881
営業利益(又は営業損失)	4,122	△154	660	93	4,721	79	4,800

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	21,053	(11,321)	7,717	7,575	36,346
II 連結売上高	—	—	—	—	102,158
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	20.6	(11.1)	7.6	7.4	35.6

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	22,723	(12,559)	7,022	7,147	36,892
II 連結売上高	—	—	—	—	105,881
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	21.5	(11.9)	6.6	6.7	34.8

- (注) 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域
(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他
(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他
(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中近東 他

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

四半期ごとの業績推移

1. 連結

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成22年4月～6月)	第2四半期 (平成22年7月～9月)	第3四半期 (平成22年10月～12月)	第4四半期 (平成23年1月～3月)	累計
					平成23年3月期
売上高	33,817	33,464	34,875	33,868	136,026
営業利益	2,688	2,522	2,593	1,811	9,615
経常利益	3,004	2,553	2,924	2,045	10,527
四半期(当期)純利益	1,759	1,450	1,549	450	5,209
四半期包括利益又は 包括利益	1,262	1,138	2,531	1,823	6,757

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成23年4月～6月)	第2四半期 (平成23年7月～9月)	第3四半期 (平成23年10月～12月)	伸び率 (%)	
				前年同期 (3Q) 比	前四半期 (2Q) 比
売上高	35,379	35,651	34,850	△0.1	△2.2
営業利益	2,335	1,039	1,425	△45.0	37.1
経常利益	2,890	1,301	1,858	△36.4	42.9
四半期(当期)純利益	1,508	960	1,054	△31.9	9.8
四半期包括利益又は 包括利益	1,841	172	362	△85.7	109.9

2. 単体

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成22年4月～6月)	第2四半期 (平成22年7月～9月)	第3四半期 (平成22年10月～12月)	第4四半期 (平成23年1月～3月)	累計
					平成23年3月期
売上高	23,338	23,200	24,146	22,965	93,650
営業利益	1,534	1,190	1,077	337	4,139
経常利益	2,063	1,682	1,558	895	6,199
四半期(当期)純利益	1,417	1,279	1,000	370	4,067

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成23年4月～6月)	第2四半期 (平成23年7月～9月)	第3四半期 (平成23年10月～12月)	伸び率 (%)	
				前年同期 (3Q) 比	前四半期 (2Q) 比
売上高	24,811	24,855	24,045	△0.4	△3.3
営業利益	940	255	741	△31.1	190.6
経常利益	1,653	848	1,569	0.7	84.9
四半期(当期)純利益	1,037	736	959	△4.1	30.3